FUKUOKA PRIZE 2021

第31回 福岡アジア文化賞

芸術・文化賞受賞者

プラープダー・ユン氏
（タイ／作家、映画作家、アーティスト）

市民フォーラム

参加無料
要申込

2021.10.2（土）

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ（参加者会場・申込先着順）
オンライン配信（YouTubeライブ配信）
会場参加、オンライン視聴いずれかをお選びいただけます。

プレイベント：映画上映
第一部　：講演・対談
第二部　：文学講座
※詳細は裏面をご覧ください。

参加無料
要申込

市民フォーラム 参加申込受付中！

※プレイベント、第一部、第二部それぞれ選択して申し込むことができます。

12：00～13：50（11:30 受付開始） プレイベント　映画上映

『地球で最後のふたり』LAST LIFE IN THE UNIVERSE

※オンライン配信はありません

2003年／タイ・日本・オランダ・フランス・シンガポール／107分／35mm

監督・脚本：ペンエーグ・ラッタナルアーン　　脚本：プラープダー・ユン

音声：日本語・タイ語・英語
字幕：日本語

タイのリゾート地を舞台に、互いの兄妹の死をきっかけに出会った国籍の異なるふたりが、つたない言葉を交わし、心を近づけていく過程を描いた静謐なラブストーリー。主演は、本作でベネチア国際映画祭コントロコレンテ部門主演男優賞に輝いた浅野忠信。ほか、出演者にシニター・ブンヤサック、松重豊など。

14：30～15：30（14:15 受付開始） 第一部　講演・対談

タイ作家が表象した日本と日本人

日英同時通訳

プラープダー・ユン氏は、日本文化への深い造詣をもとに、日本についてのエッセイや日本人を主役とした映画の脚本を執筆し、タイにおける日本理解のバージョンアップにも貢献している。一方、三島由紀夫をはじめ、タイに取材した日本の小説や映画もある。新型コロナ（COVID-19）禍と日本文化を巡る氏の基調講演に続き、二つの国が互いを見つめる視線の交差点を、受賞者、日本文学におけるタイ表象を研究する久保田教授とともに考えます。

16：00～17：10（15:45 受付開始） 第二部　文学講座

世界文学としてのタイ文学

日英同時通訳

タイ文学の新世代作家として評価され、グローバルな視点で執筆を続けてきたプラープダー・ユン氏。その作品は人間の本性をユーモラスかつ率直に描く一方、現代文化や社会への批評精神と深い思索に満ちています。同時代的ながら「タイ的」でもある氏の作品を通して、アジアの文学が世界と、日本とどう交差するのか考えます。

※申込者にはプラープダー氏の短編「存在のあり得た可能性」「バーラミー」「使い捨てハミガキ」の電子データをお送りします。※会場参加者には、上記短編をまとめた冊子を来場記念としてお渡しします。

第一部・第二部出演者

第一部　コーディネーター：宇戸氏、対談者：久保田氏
第二部　コーディネーター：福冨氏、対談者：宇戸氏、久保田氏

宇戸　清治　UDO Seiji
（東京外国語大学名誉教授）

専門は、タイ文学、タイ映画論、タイ語。主な編著書・翻訳に、『東南アジア文学への招待』（段々社）、『タイを知るための72章』（明石書店）、チャート著『狂犬たち』（Bangkok Horn出版）、プラープダー著『物語の島アジア：パンダ』（東京外国語大学出版会）、『島田庄司選アジア本格推理：二つの時計の謎』（講談社）、『初級タイ語のすべて』（IBCパブリッシング）、『パスポート初級タイ語辞典』（白水社）など。福岡アジア文化賞芸術・文化賞選考委員。

久保田　裕子　KUBOTA Yuko
（福岡教育大学教授）

専門は、日本近現代文学。タイ国立チュラーロンコーン大学客員教授。共編著に『21世紀の三島由紀夫』（翰林書房、2015）、『混沌と抗戦―三島由紀夫と日本、そして世界』（水声社、2016）がある。

福冨　渉　FUKUTOMI Sho
（オンライン出演）

タイ文学研究者、タイ語翻訳・通訳者。株式会社ゲンロン所属。著書に『タイ現代文学覚書』（風響社）、訳書にプラープダー・ユン『新しい目の旅立ち』（ゲンロン）、ウティット・ヘーマムーン『プラータナー：憑依のポートレート』（河出書房新社）がある。

プラープダー・ユン　Prabda YOON　タイ／作家、映画作家、アーティスト
（オンライン出演）

1973年タイ、バンコク生まれ。
タイを代表する作家の一人で、タイ文学・思想の発展に寄与。評論家、脚本家、エッセイスト、翻訳家、グラフィックデザイナー、イラストレーター等の顔も持つマルチクリエイター。日本滞在経験があり、雑誌への寄稿を通して等身大の日本を紹介するなど、タイの日本観に新たな視座を与える。
その作品は、日本語はもとより多くの言語に翻訳され、世界の関心も高い。近年では、アジアの一作家として哲学的思索を深めている。

©国際交流基金バンコク日本文化センター

申込締切　：9.29（水）　申込方法　：右のQRコードからお申し込みください。

※QRコードからお申し込み出来ない方へ：福岡市総合図書館3階文学・映像課にて来館による申込を受け付けます。ご利用ください。

主催：福岡市、（公財）福岡よかトピア国際交流財団、福岡市総合図書館／映像ホール・シネラ実行委員会
お問い合わせ先：31acprize-pl@convention.co.jp（お問い合わせはメールでお願いいたします。）

福岡アジア文化賞：アジア地域の優れた文化の振興と相互理解及び平和に貢献するため、1990年に、福岡市及び(公財)福岡よかトピア国際交流財団が創設。アジアの固有かつ多様な文化の保存と創造に顕著な業績を挙げた方々を顕彰している。これまでの受賞者は115名を数え、今なお世界中で活躍を続けている。

市民フォーラムのほか、授賞式（9.29（水））も申込によりオンライン視聴できます（申込締切9.10（金））。詳しくは福岡アジア文化賞HPをご確認ください！